



ワン!モア ヒューストン

Vol. 5 テキサスでは犬イベントもBIG!

川原志津香(家庭犬しつけインストラクター)

ヒューストンでは、毎年7月に”World Series of Dog Show”という大規模な犬のイベントが開催されています。NRG Centerで行われるこのイベントの中核となるのは、純血犬種の品評会であるドッグ・ショーです。純血犬種には外観、サイズ、毛色、毛の長さ、気質等について犬種スタンダードと呼ばれる基準が定められていますが、ドッグ・ショーは、この犬種スタンダードに最も近い犬を選んで表彰するものです。犬が好きの人にとっては、珍しい犬種に出会えたり、様々な犬がショー・リンクの中で1頭1頭審査を受け、歩く様子を披露するのを眺めたりするのは楽しいものです。

”World Series of Dog Show”はドッグ・ショーに出陣する人だけのものではありません。一般の来場者にとっても犬に関係する情報が得られ、楽しいイベントに参加できる場所でもあります。ドッグ・ショーのリンクの横には、犬用品を販売しているブースや、新しい飼い主を探している犬のためのレスキュー団体のブースがいくつも並んでいます。また、その奥にはドッグ・ダンス(Canine musical freestyle音楽に合わせて犬と踊る競技)やケーナイン・frisbee(Canine Frisbee人が投げるfrisbeeを軽快に

キャッチする競技)のデモンストレーションの会場があります。ハードルを飛び越えた先にあるテニスボールを取って戻り、同じチームの次の犬にリレーするというフライボール(Flyball)競技も開催されています。干し草の中に隠されたネズミの入った箱を見つけるバーン・ハント(Barn hunt)は、自分の犬でチャレンジしてみたい人が行列するほど人気のイベントです。憧れの犬種と触れ合うことができるミート・ザ・ブリード(Meet the breed)も子供達に大人気です。

2023年の会期は、7月19日(水)から23日(日)と発表されています。初日は来場者も少なく比較的空いているのですが、イベントもあまりありません。盛り上がるのは、やはり金、土、日曜日の3日間です。入場料、会場の地図やスケジュールの詳細は、日にちが近づくとうェブサイトで確認することができます。パンデミックのために2020年、2021年は例年のように開催されなかったようですが、2022年からほぼ以前の規模で復活し、昨年は多くの来場者が訪れていました。Everything is bigger in Texas(テキサスでは全てが大きい)とよく言われる通り、この犬イベントもとにかく見応えのある大規模なものです。ご興味のある方は是非一度足を運んでみてください!



▲躍動感あふれる フライボール競技



▲ショー・リンクの中で審査員(ジャッジ)の評価を受けます



▲珍しい犬種のグッズも手に入ります



▲多くの保護団体が里親募集中の犬を紹介しています

Houston Walker

■ May 19 - 20

STRAVINSKY OEDIPUS REX Houston Symphony @ Jones Hall

バレエ音楽で知られるストラヴィンスキー傑作「オイデプス王」を、インスタレーションと映像プロジェクションとともにオペラスタイルで楽しめる公演となっています。

■ May 21~Sep. 17

Impressionist and Post-Impressionist Masterpieces from the Pearlman Foundation @ The Museum of Fine Arts, Houston

セザンヌやゴーッガン、そしてヴァン・ゴッホやモディリアーニに至るまでの、印象派とポスト印象派による傑作が集結した特別展。NY パールマン財団の所蔵作品とともに、印象派の画家たちがどのようにパリで交流し、互いに影響を受けたか、コンテキストとともに紹介します。

■ May 26~Sep. 4

Sharks! The Meg, The Monsters, & The Myths @ The Houston Museum of Natural Science

実は恐竜より歴史は古いというサメ。映画のイメージとは裏腹に3分の1が絶滅危惧にさらされているという実態をご存じですか? サメの化石から、7千ガロンの水槽に生きたサメまで展示されるこの特別展、卓越したハンティング能力、サメのミステリーについて学んでみま

せんか。夏休みの自由研究にも役立つそう。

■ May 31 - July 2

Wicked @ Hobby Center

お馴染みブロードウェイミュージカルの「Wicked」が上演されます。オズの魔法使いの知られざるストーリーを描いたこの演目。ドロシーがオズの国にやってくるずっと前の、緑色の肌をした女性の物語です。この機会にぜひ。

■ June 1, 2, 3, 4

Houston Astros vs L.A. Angels @ Minute Maid Park

アストロズを応援するか、エンゼルスを応援するか、悩ましい?! 先発メンバーは数日前に確認できます。

■ June 8 - 18

SWAN LAKE @ Wortham Theater

ヒューストンバレエ団による「白鳥の湖」公演。日本人ダンサーの活躍が名作で見られるのは嬉しいですね。

■ June 17 & 18

Tokyo X @ NRG Center

日本人シェフによるこだわりの日本食やコスプレショー、メイドカフェなど日本の現代文化を楽しむ祭典。

内容は記事執筆時点の情報に基づいています。変更になる場合もありますので、お出かけ前に各自で最新の情報を主催者サイト等でご確認ください。

編集後記

日本はそろそろ梅雨入りの季節ですが、ヒューストンは夏の本番を迎えたように感じます。暑さがより一層増してきておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか?

学校帰りの子供たちは、公園のスプラッシュパッドやコミュニティプール、アパート併設のプールで毎日水遊びを楽しんでいます。思い返せば3月頃から暖かい日はプールに入ることができ、ヒューストンの夏が長いことを改めて感じました。この長い夏を、家族みんなで健康に乗りきることが我が家の目標です。

というのも、ヒューストンの最初の夏の印象は、屋外は驚くほど暑くても屋内は凍えるほど寒いというものでした。外の気温に合わせて衣服を選び、屋内施設の中で後悔した経験が何度もあります。朝夜だけでなく屋内外での寒暖差にも要注意です。

さて、6月~8月は学校の夏休みになり、一時帰国される方も多いのではないかと思います。3月13日以降、日本でもマスクの着用が個人の判断に任せられております。何も隠すもののない笑顔を久しぶりに見ることができると思うと嬉しく感じます。また、このタイミングで旅行に出られる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。皆様、どうぞ道中お気をつけてください。そして、長い夏を健康に存分に楽しみましょう。

(編集委員 大野麻衣)

ガルフストリームは毎月15日発行です。

編集委員および投稿募集中!

問い合わせ先: sansuikai@jbahouston.org

ガルフストリームは、ホームページでも閲覧可能です。

https://www.jbahoustongulfstream.com/

発行: ヒューストン日本商工会

発行責任者: 早坂 晃

編集委員長: 稲田徳弘

構成・編集: ガルフストリーム編集委員一同